

## 大分県医労連 第1回 青年学習交流集会 in 城島高原！！『青年学習交流会』に参加して



大分県医労連として初めての試みで、10月3日～4日、一泊二日の青年学習交流集会を開催しました。大分県では各単組から青年層が休みをとって本部の学習会等に参加することが、なかなか難しい現状がありました。これからを担ってくれる青年層が

地元で仲間とゆっくり話せる集会を、そして少しでも組合の運動に関心を持ってくれるようにとの思いから、宿泊・懇親会を企画しました。医労連本部から瀧川中執に講師として来てもらい「労働安全衛生活動について」「医労連共済について」の二本の講演をしてもらいました。瀧川さんの愛のある講演を聴いて、少し難しい内容もあったかと思いますが、胸に残る一文もあったのではないかと考えています。夕食交流会では青年らしく楽しく盛り上がり時間を忘れるほどでした。全体で72名の参加、宿泊も60名と多くの参加で第1回目の青年学習交流集会は大成功だったと思います。今後に繋がる大きな第一歩だったと自負しているところです。宮田青年部長始め青年部の実行委員の皆さん、お疲れ様でした！【大分県医労連委員長】

いろいろな病院の人たちと交流しながら楽しい一泊二日を過ごすことができました。勉強会では、知らないことばかりでしたが、色々なことで組合員から少しずつ声を出して行けばいいなあと思いました。共済の方も見直しをしようと思っていた私には、とても勉強になりました。また、機会があれば参加させてもらいたいと思います。計画から色々準備してくれた青年部の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。【佐藤病院労組合】

2日間にわたり青年部主催、初となる『青年学習交流会』を開催し、労働安全衛生では、私達、医療・看護・介護の現場で働く人間は、長時間労働・多大なるリスクと隣合わせであるのが、当たり前だと思い業務に携わっている方が多いではないかと思っています。今回の講義を聞き、私達が知らないだけで、権利や法律で守られ、多くの働きやすい職場環境作りへの取り組みが行われている事を学ぶ事が出来ました。また医労連共済の話を通し「組合」とは助け合いで成り立っていてとても素晴らしいものだと感じました。【青年部長】

労安学習会&組合クイズで頑張る青年



夕食交流会でのエンターテイメント



2日目の共済学習会後に

検索！ <http://oita-irouren.net/>

次回に続く・・・

労働組合とはなんだよ？ 32

ひとりひとりが主人公！！

誰かに何かをしてもらう。誰か何かをしてくれる。それを待っているのは楽かもしれませんが、しかし、誰かを頼りにしていると頼る人が居なくなったりとき、頼る誰かと意見が合わないとき、困りませんか？辛くないですか？

ひとりひとりが主人公ではあります。組合運動はひとりでは出来ません。仲間同士の支え合い・協力が必要なのです。その中で、先頭に立って旗を持つ人も必要でしょう。声を上げてみんなを集める人も必要でしょう。一番最後にいて周囲を見てくれる人も必要でしょう。ひとりひとりがその人に会った立ち位置でその人のやり方で組合運動をする。

誰かとは誰かより偉いとか、誰かは誰かの下という考え方は組合の中にはありません。ただ少し経験の長い人が経験の短い人をサポートしていくのです。

みんな仲間、助け合いの心でつながる仲間です。あなたも自分の立ち位置を探してみてください。